

項目	型名	PS-S505	PS-S506
定格入力	130W (R.M.S) 260W (連続ブローグラム入力)	130W (R.M.S) 260W (連続ブローグラム入力)	
最大入力	カーネット 低音域用 : 30cm×2×1 高音域用 : 8cm×2×1	カーネット 低音域用 : 30cm×2×1 高音域用 : 8cm×2×1	
スピーカーユニット	高音域用 : スロート径2.5cmドライバー×1 定指向性ホーン×1 (指向角度90°×35°)	高音域用 : スロート径2.5cmドライバー×1 定指向性ホーン×1 (指向角度90°×35°)	
出力音圧レベル	98dB/W (1m)	98dB/W (1m)	
周波数特性	60~20,000Hz	65~20,000Hz	
入力インピーダンス	8Ω	8Ω	
クロスオーバ周波数	2,500Hz	2,500Hz	
外形寸法	下図参照	下図参照	
重量	約19kg	約19kg	
添付物	取り扱い説明書×1 保証書×1 ビクターサービス窓口案内×1	取り扱い説明書×1 保証書×1 ビクターサービス窓口案内×1	
外観寸法図			

本機の規格および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

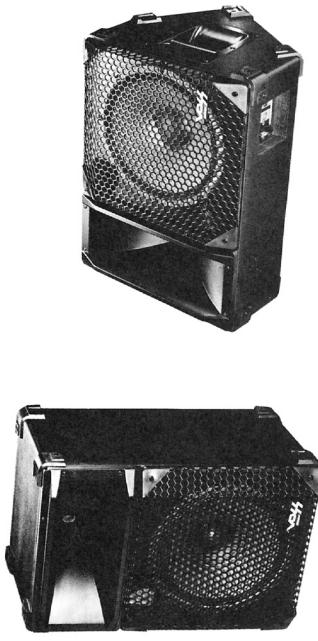


は VICTOR ORIGINAL SOUND SYSTEM の略で登録商標です。

#### <保証とアフターサービス>

- この商品は保証書を添付しています。保証書はお買上げ販売店でお渡し致しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買上げの日より1年間です。保証書記載の内容により、お買上げ販売店が修理いたします。
- その他詳細は保証書をご覧ください。
- そのほかアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店または別紙（ビクターサービス窓口案内）をご覧のうえ最寄のサービス窓口にご相談ください。

PS-S506



#### 取扱説明書

## PS-S505 小型ハイパワースピーカーシステム

## PS-S506 フルアルミドライブスピーカーシステム

お買あげありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
そしてお読みになったあとも大切に保存してください。

お香料ご相談センター  
〒113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311  
〒543 大阪市天王寺北1丁目16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161  
システム事業部  
〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243(ダイヤル1)

**Victor JVC**  
**日本ビクター株式会社**

## 概要

- このスピーカーシステムは、低音域には一定領域で均一な指向性をもつ定指向性ホーンと2.5cmスロートのドライバーを組み合わせた2ウェイバイアフレームスピーカーシステムです。
- 用途に応じて2種類の形態があります。
- PS-S505 : 一般PA用スピーカーシステムです。別売のスピーカースタンドPS-U500に設置できます。
- PS-S506 : ステージモニター用として、あるいは天井や壁などのコーナー設置用として最適なスピーカーシステムです。
- 小形ながら最大入力260W(連続プログラム入力)の高耐入力、しかも持ち運びができるスタッキングも可能ですので、設備用だけでなく、移動用PAのメインスピーカーシステムとしても十分使用することができます。

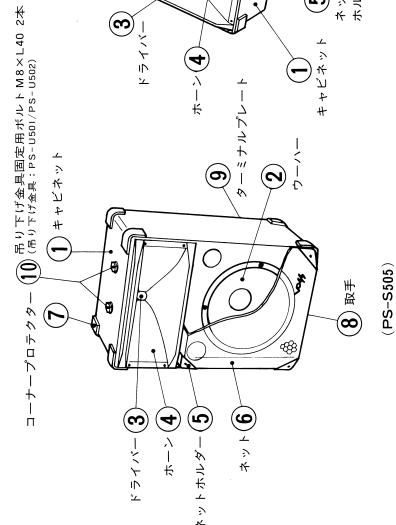
## 保護回路について

- 高音域に保護回路が内蔵されていますので、ハフリング等の過大入力が加わりますと、保護回路が動作して高音域を遮断します。この場合、すみやかに音量を下げて自動復帰するまで(約5~10秒)お待ちください。

## 設置上の注意

- PS-S505は、下図通りスタッキングできます。
- スピーカーを傾いた所や弱い合等、不安定な場所には置かないでください。万一落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- スピーカーを取り付ける場合は、スピーカーの重量に十分耐えられるよう補強を施し、設置してください。
- スピーカーを天井に取り付ける場合は、床や壁面、天井などの構造によっては、振動して音質を損ねる場合がありますので、ご注意ください。

## 各部の名称

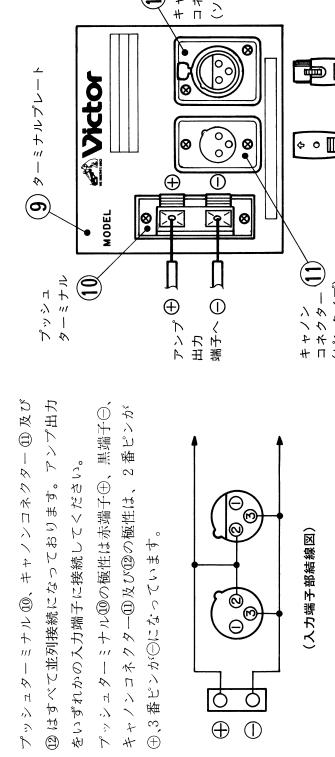


## 設置方法

- PS-S505は、下図通りスタッキングできます。
- PS-S505は、スピーカースタンドPS-U500に設置する場合は、スピーカーを取手⑧の位置に固定して、スピーカーをスタンドに差し込んでください。
- PS-S506は設置の仕方ににより、音の放射角度を3通りに調節できます。使用条件に応じてご利用ください。
  - (ヨコ置き) (横置き): Both speakers are placed horizontally, facing each other at a 35° angle.
  - (タテ置き) (縦置き): One speaker is placed vertically, facing the other at a 35° angle.
  - (水平方向) (Horizontal direction): Both speakers are placed horizontally, facing forward at a 0° angle.
- このスピーカーシステムでは、高音域に定指向性ホーン(指向角度水平90°、垂直35°)を採用していますので、聴取位置がホーン中心軸より、水平90°、垂直35°以内となるようにスピーカーを設置してくださいますと、一層バランス良い音質が得られます。

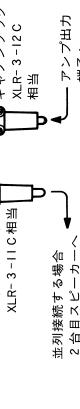
## 接続方法

- ブッシュターミナル⑪、キャノンコネクター⑫はすべて並列接続になっております。アンプ出力をいずれかの入力端子に接続してください。
- ブッシュターミナル⑪の極性は赤端子+、黒端子-、キャノンコネクター⑫の極性は、2番ピンが+、3番ピンが-になっています。
- スピーカーを複数個接続する場合は、その合成インピーダンスがパワーアンプの許容負荷インピーダンス以下にならないようご注意ください。
- 2台以上のスピーカーを同一室内で使用する場合は、必ず+、-の極性を合わせてください。



(入力端子部接続図)

- スピーカーを複数個接続する場合は、その合成インピーダンスがパワーアンプの許容負荷インピーダンス以下にならないようご注意ください。
- 2台以上のスピーカーを同一室内で使用する場合は、必ず+、-の極性を合わせてください。



(スピーカー接続図)

(水平方向)

(垂直方向)